



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月9日 東

上場会社名 丸一鋼管株式会社 上場取引所  
 コード番号 5463 URL <http://www.maruichikokan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 鈴木 博之  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 河村 康生 (TEL) 06-6531-1201  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年11月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	74,317	△1.1	7,542	△20.1	8,595	△16.0	6,584	△3.8
27年3月期第2四半期	75,145	18.2	9,444	△0.1	10,229	△5.6	6,842	4.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △1,075百万円( -%) 27年3月期第2四半期 7,838百万円(△46.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	78.26	78.18
27年3月期第2四半期	80.75	80.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	302,332	246,153	77.9
27年3月期	321,452	254,374	75.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 235,561百万円 27年3月期 243,641百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	25.00	—	46.50	71.50
28年3月期	—	25.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	49.50	74.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,300	△4.8	16,900	△4.7	18,500	△7.1	12,900	38.7	153.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	94,000,000株	27年3月期	94,000,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	10,254,856株	27年3月期	9,270,643株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	84,134,279株	27年3月期2Q	84,734,787株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復は依然として弱いものの、円安による輸出企業の好業績や雇用環境の改善などにより景気は緩やかな回復基調で推移しました。海外では、米国経済は企業業績、雇用の改善などにより個人消費も堅調に推移し、欧州経済も緩やかに景気が回復しましたが、アジアでの中国経済及び新興国経済の減速などから、景気の先行きは不透明な状況で推移致しました。一方、鉄鋼業界は内需が低迷する中国の輸出拡大の影響で国際市況が急激に悪化し、米国をはじめ世界各国で輸入規制の動きが拡大し、その混乱は当面収束が期待できない状態にあります。

## (日本)

当社の国内事業につきましては、昨年の雪害による農業向け鋼管の特需の反動減、自動車生産の伸び悩み、公共投資減と人手不足による建築需要の停滞、加えて鋼材市況の軟化等から販売数量、販売単価ともに前年同期比マイナスとなりました。一方、原材料を含めコストダウンに注力致しましたが、在庫減損等もあり収益改善は未達となりました。以上により国内事業は、売上高は459億9千5百万円（前年同期比6.6%減）、セグメント利益は77億6千7百万円（前年同期比15.6%減）の結果となりました。

## (北米)

北米事業につきましては、オレゴン州のマレイチ・オレゴン・スチール・チューブLLC社（MOST社）の新規連結などにより、売上高は135億4百万円（前年同期比27.7%増）と大幅に増加致しましたが、米国3社は鋼材市況の急激な悪化の影響を受け、特に原油価格の暴落による開発投資急減の影響を受けたマレイチ・レビット・パイプ・アンド・チューブLLC（Leavitt社）では赤字が拡大し、セグメント損失7億6百万円を計上致しました。

## (アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムのマレイチ・サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー（SUNSCO社）で、東南アジア市場の競争激化及び輸出相手国のセーフガードなどにより販売数量、価格ともに下落したことから、売上高は148億1千7百万円（前年同期比3.3%減）と減少しましたが、同社の償却費負担の軽減などにより、セグメント利益は3億9千万円（前年同期比477.0%増）を計上致しました。

以上の結果、国内外での在庫減損や通貨安による為替差損の発生もあり、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は743億1千7百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は75億4千2百万円（前年同期比20.1%減）、経常利益は85億9千5百万円（前年同期比16.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は65億8千4百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

なお、対米ドル換算レートは1米ドル120円23銭であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,023億3千2百万円（前連結会計年度比191億1千9百万円の減少）となりました。

主な内容は、流動資産については、原材料及び貯蔵品が50億2千9百万円減少したことなどにより流動資産合計で50億7千6百万円減少しました。固定資産については、株式市場の時価下落により投資有価証券が135億6千1百万円減少し、固定資産合計で140億4千3百万円減少しました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は561億7千8百万円（前連結会計年度比108億9千8百万円の減少）となりました。

主な内容は、支払手形及び買掛金が60億1千9百万円減少したことにより、流動負債合計で64億8千9百万円減少しました。固定負債については、繰延税金負債が32億4千7百万円、長期借入金が11億9千万円減少したことにより、固定負債合計で44億8百万円減少しました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,461億5千3百万円（前連結会計年度比82億2千万円の減少）となりました。

主な内容は、利益剰余金は、配当金の支払39億3千9百万円に対して、親会社株主に帰属する四半期純利益65億8千4百万円などにより、26億3千3百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が80億2千6百万円減少し、自己株式が30億7千2百万円増加（純資産の減少）したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月7日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別の今後の見通しについては、以下のとおりです。

(日本)

国内事業につきましては、円安を背景とした自動車生産の回復は好材料ですが、建築等の需要に力強さが欠け当用買いのマーケットが継続すると思われず。販売価格に関しても、現状では直ちに回復は見込めない状況です。従い、更なるコストの低減に努め、収益の改善をはかってまいります。また、大阪工場の堺工場への集約や国内工場の設備更新により効率化を進めてまいります。

(北米)

北米事業につきましては、当面市況の悪化は続く見込みですが、Leavitt社を含めた米国3社の採算改善の努力に傾注いたします。また、新たに鋼管事業を買収したMOST社と既存のマルイチ・アメリカン・コーポレーション(MAC社)との協働を軌道に乗せ、米国西部での当社グループのプレゼンスの拡大に努めてまいります。メキシコのマルイチメックス S.A. de C.V.では、新設した第2工場により増加が期待されるメキシコの自動車用鋼管需要に積極的に対応してまいります。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムSUNSCO社では、高品質な製品の日系顧客も含めたベトナム国内及び近隣諸国への販売体制を強化し、同時に東南アジアの既存マーケットの減少をカバーする為、米国を含めた新しい市場の開拓に努力いたします。インドのマルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッドでは、稼働を開始したバンガロール工場により、インド南部のステンレス鋼管の供給体制の強化をはかってまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額  
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い  
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定  
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方  
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更  
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、  
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び  
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点  
から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	61,311	61,162
受取手形及び売掛金	34,976	33,532
有価証券	23,157	24,820
製品	10,566	10,556
原材料及び貯蔵品	19,405	14,376
その他	4,388	4,287
貸倒引当金	△28	△33
流動資産合計	153,778	148,701
固定資産		
有形固定資産		
土地	32,644	32,775
その他	54,621	54,529
有形固定資産合計	87,266	87,305
無形固定資産		
のれん	1,011	934
その他	2,316	2,284
無形固定資産合計	3,327	3,218
投資その他の資産		
投資有価証券	73,789	60,228
その他	3,290	2,878
投資その他の資産合計	77,079	63,106
固定資産合計	167,673	153,630
資産合計	321,452	302,332

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,489	18,469
短期借入金	10,565	11,646
未払法人税等	2,990	3,527
賞与引当金	845	855
役員賞与引当金	79	40
その他	6,992	4,932
流動負債合計	45,962	39,472
固定負債		
長期借入金	11,269	10,078
役員退職慰労引当金	65	70
退職給付に係る負債	3,121	3,145
繰延税金負債	6,427	3,180
その他	230	229
固定負債合計	21,114	16,705
負債合計	67,077	56,178
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,595	9,595
資本剰余金	15,821	15,821
利益剰余金	223,199	225,833
自己株式	△20,506	△23,578
株主資本合計	228,110	227,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,382	6,356
為替換算調整勘定	1,269	1,629
退職給付に係る調整累計額	△120	△96
その他の包括利益累計額合計	15,531	7,889
新株予約権	134	122
非支配株主持分	10,597	10,469
純資産合計	254,374	246,153
負債純資産合計	321,452	302,332

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	75,145	74,317
売上原価	59,469	60,293
売上総利益	15,675	14,023
販売費及び一般管理費	6,231	6,480
営業利益	9,444	7,542
営業外収益		
受取利息	88	112
受取配当金	604	771
持分法による投資利益	251	235
その他	382	377
営業外収益合計	1,327	1,496
営業外費用		
支払利息	154	179
為替差損	169	12
不動産賃貸費用	123	150
その他	94	100
営業外費用合計	541	443
経常利益	10,229	8,595
特別利益		
投資有価証券売却益	724	1,872
その他	15	79
特別利益合計	740	1,951
特別損失		
固定資産除却損	13	10
その他	0	1
特別損失合計	14	12
税金等調整前四半期純利益	10,955	10,534
法人税等	4,110	4,045
四半期純利益	6,844	6,489
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△94
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,842	6,584

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	6,844	6,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,633	△7,583
為替換算調整勘定	△934	301
退職給付に係る調整額	24	22
持分法適用会社に対する持分相当額	△730	△304
その他の包括利益合計	993	△7,564
四半期包括利益	7,838	△1,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,048	△1,057
非支配株主に係る四半期包括利益	△210	△17

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成27年5月12日開催の取締役会において、会社法第459条第1項第1号の規定による定款の定めに基づく、自己株式の取得を決議し、実施しております。これにより、四半期連結貸借対照表の純資産の部の株主資本における自己株式が1,000千株、3,108百万円増加しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	49,252	10,573	15,319	75,145	—	75,145
セグメント間の 内部売上高又は振替高	411	—	—	411	△411	—
計	49,663	10,573	15,319	75,557	△411	75,145
セグメント利益	9,204	110	67	9,383	61	9,444

(注) 1. セグメント利益の調整額61百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間において、マルイチメックスS.A. de C.V.を連結の範囲に含めたため、北米事業における資産の金額が著しく増加しております。この結果、当該増加額を含めた第2四半期連結会計期間末の北米事業の資産残高は、17,067百万円(前連結会計年度末15,671百万円)であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,995	13,504	14,817	74,317	—	74,317
セグメント間の 内部売上高又は振替高	75	—	—	75	△75	—
計	46,071	13,504	14,817	74,392	△75	74,317
セグメント利益又は損失(△)	7,767	△706	390	7,451	91	7,542

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額91百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。